



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社  
 コード番号 6848 URL <http://www.toadkk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 俊夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 壽  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

上場取引所 東

TEL 03-3202-0211

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,482	△12.1	601	△30.8	651	△26.3	398	△30.4
2019年3月期第2四半期	8,515	25.6	868	58.3	883	52.9	572	59.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 419百万円 (47.9%) 2019年3月期第2四半期 283百万円 (△37.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	20.11	—
2019年3月期第2四半期	28.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,065	15,943	72.3
2019年3月期	22,793	15,841	69.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,943百万円 2019年3月期 15,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,650	0.6	2,050	3.4	2,100	2.6	1,400	5.9	70.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	19,880,620 株	2019年3月期	19,880,620 株
2020年3月期2Q	47,943 株	2019年3月期	47,943 株
2020年3月期2Q	19,832,677 株	2019年3月期2Q	19,832,734 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～9月30日)におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響が懸念される中、緩やかな景気回復が継続し、設備投資は人手不足対策と生産性向上を目指して堅調に推移いたしました。一方、海外においては、中国経済の減速、英国のEU離脱、日韓関係の悪化等による不確実性が懸念され、不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、計測機器市場につきましては、国内では企業の設備投資が堅調なことから回復が続いております。海外では、アジアでの環境規制強化に伴い旺盛な需要が続いております。また医療機器市場は国内外ともに拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは、2019年4月からスタートした中期経営計画のもと、「水・大気・医療・ガス」の4本柱でさらなる成長に向けた施策を積極的に進めております。

国内では、4月1日付で連結子会社の東亜DKKアナリティカ株式会社を吸収合併することで、業務効率化を図り事業運営を強化した他、科学分析機器の新製品発売キャンペーンの展開等に注力いたしました。一方、主要市場である中国では、大気汚染規制強化に伴う商戦本格化に向け、中国最大の環境保護展(CIEPEC2019)に出展するなど、活発な受注活動を展開いたしました。また、環境水質監視用の全窒素・全りん自動測定装置の新モデルで中国の国家性能認証を取得するとともに、中国での現地生産を開始し、事業拡大を推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、アジアにおいて前年同期に大型案件を売上げた反動等から、売上高は7,482百万円(前年同期比12.1%減)となりました。利益につきましては、営業利益は601百万円(前年同期比30.8%減)、経常利益は651百万円(前年同期比26.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は398百万円(前年同期比30.4%減)となりました。

分野別売上高の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (第75期) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 (第76期) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで		前期比 (%)	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)		
計測 機器 事業	①環境・プロセス分析機器	3,841	45.1	2,633	35.2	△31.4
	②科学分析機器	1,037	12.2	1,002	13.4	△3.3
	③産業用ガス検知警報器	156	1.8	149	2.0	△4.8
	④電極・標準液	1,133	13.3	1,147	15.3	1.2
	⑤保守・修理	1,010	11.9	1,099	14.7	8.9
	⑥部品・その他	1,208	14.2	1,319	17.6	9.2
	合 計	8,386	98.5	7,350	98.2	△12.4
不動産賃貸事業	129	1.5	132	1.8	2.3	
合 計	8,515	100.0	7,482	100.0	△12.1	

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### <計測機器事業>

当事業の売上高は7,350百万円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益は895百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

##### ① 環境・プロセス分析機器

この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

国内の売上は、主力の基本プロセス計測器や環境大気測定装置の販売が好調に推移したものの、海外では、アジアにおいて前年同期に大型案件を売上げた反動等から、当分野の売上高は前年同期比31.4%減となりました。

##### ② 科学分析機器

この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療用関連機器等であります。

ラボ用分析機器・ポータブル分析計の新製品発売キャンペーンを展開し、国内での売上は好調に推移したものの、海外販売が伸び悩みました。また、医療関連機器の主要製品である粉末型透析用剤溶解装置につきましては、売上高は前年同期を下回っておりますが、受注高は増加傾向にあり、通期では前期と同程度の売上を見込んでおります。これらの結果、当分野の売上高は前年同期比3.3%減となりました。

##### ③ 産業用ガス検知警報器

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

当分野の売上高は、国内外での販売が減少し、前年同期比4.8%減となりました。

##### ④ 電極・標準液 ⑤ 保守・修理 ⑥ 部品・その他

この分野は、前記① 環境・プロセス分析機器、② 科学分析機器 の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、補用パーツ等に該当するものであります。

基本プロセス計測器や科学分析機器の順調な販売に伴い、アフタービジネス（④⑤⑥）の売上高は全体で前年同期比6.4%増となりました。

#### <不動産賃貸事業>

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。当事業の売上高は132百万円、セグメント利益は84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ727百万円減少の22,065百万円となりました。これは、現金及び預金が289百万円、たな卸資産が169百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が819百万円、電子記録債権が324百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ829百万円減少の6,122百万円となりました。これは、未払法人税等が222百万円、未払金が186百万円、電子記録債務が180百万円、支払手形及び買掛金が141百万円それぞれ減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加の15,943百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期業績の見通しにつきましては、2019年5月8日に公表した業績予想に変更はありません。

なお、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,485	5,774
受取手形及び売掛金	5,603	4,784
電子記録債権	1,319	995
商品及び製品	1,031	1,153
原材料	801	801
仕掛品	742	790
その他	251	221
流動資産合計	15,234	14,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,525	2,475
機械装置及び運搬具（純額）	162	140
工具、器具及び備品（純額）	289	276
土地	1,750	1,750
リース資産（純額）	61	124
建設仮勘定	0	16
有形固定資産合計	4,789	4,784
無形固定資産		
ソフトウェア	71	74
その他	13	34
無形固定資産合計	84	109
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927	1,937
繰延税金資産	379	363
その他	377	350
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,684	2,650
固定資産合計	7,558	7,545
資産合計	22,793	22,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,237	1,095
電子記録債務	627	447
短期借入金	430	415
リース債務	19	38
未払金	333	147
未払法人税等	460	237
未払消費税等	102	78
賞与引当金	293	349
役員賞与引当金	33	—
製品点検費用引当金	80	80
その他	305	212
流動負債合計	3,923	3,102
固定負債		
長期借入金	101	66
リース債務	50	123
長期未払金	148	148
長期預り保証金	358	364
役員退職慰労引当金	63	39
退職給付に係る負債	2,233	2,203
資産除去債務	74	75
固定負債合計	3,029	3,020
負債合計	6,952	6,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	11,861	11,942
自己株式	△11	△11
株主資本合計	14,989	15,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	977	981
退職給付に係る調整累計額	△126	△109
その他の包括利益累計額合計	851	872
純資産合計	15,841	15,943
負債純資産合計	22,793	22,065

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,515	7,482
売上原価	5,357	4,644
売上総利益	3,158	2,838
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,039	1,048
賞与引当金繰入額	165	175
退職給付費用	75	81
役員退職慰労引当金繰入額	10	2
減価償却費	60	40
研究開発費	208	191
その他	729	696
販売費及び一般管理費合計	2,289	2,236
営業利益	868	601
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	1	2
為替差益	—	2
保険解約返戻金	—	6
その他	7	24
営業外収益合計	26	53
営業外費用		
支払利息	3	4
債権売却損	0	0
為替差損	7	—
その他	0	0
営業外費用合計	11	4
経常利益	883	651
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	0
リース解約損	0	1
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	882	648
法人税等	310	249
四半期純利益	572	398
親会社株主に帰属する四半期純利益	572	398

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	572	398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△297	3
退職給付に係る調整額	8	16
その他の包括利益合計	△289	20
四半期包括利益	283	419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283	419

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,386	129	8,515	8,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	8,386	129	8,515	8,515
セグメント利益	1,164	80	1,244	1,244

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,244
全社費用(注)	△375
四半期連結損益計算書の営業利益	868

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,350	132	7,482	7,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,350	132	7,482	7,482
セグメント利益	895	84	980	980

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	980
全社費用(注)	△379
四半期連結損益計算書の営業利益	601

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。